

## 第10回補助金検討委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成16年11月25日（木） 午後7時00分～午後9時00分
- 2 開催場所 浦安市役所第3庁舎第2会議室
- 3 出席者  
（委員）  
小泉 允 囿 委員長  
大川 三 敏 委員、渡邊 襄 一 委員、藤岡 順 次 委員  
館 里 枝 委員、仲澤 泰 委員  
（事務局）  
新宅 秀 樹 財政課長、及川 力 主 査  
渡辺 豊 副主査、文違 一 博 副主査、玉野 広 宗 主任主事
- 4 欠席者  
川口 明 浩 副委員長、野崎 実 委員
- 5 議 題  
（1）平成17年度当初予算について  
補助金チェックシートについて  
（2）その他
- 6 議事の概要  
（1）平成17年度当初予算について  
補助金チェックシートの回答内容を点数化したものをもとに意見交換を行なった。  
また、予算執行課が作成した130余の補助金チェックシートをもとに、各委員に割り振られた補助金についての意見感想等を取りまとめたものをもとに意見交換を行なった。  
（2）その他  
次回会議の開催は、年明けとしたい。（日程については、別途調整）
- 7 会議経過  
補助金チェックシートについての意見交換を行なった。  
委 員：このチェックシートだけでは、事業内容を把握するのに必要な情報が少ないため、補助金額の妥当性を判断することは難しい。意見はあくまでも限られた情報の中におけるものである。  
委 員：「事業評価を行なっている」と回答していても、交付団体から決算書をもらっているだけでは意味が無い。  
委 員：補助対象（事業、経費等）が明確になっていないものには、本来補助金は交付出来ない。例えば、補助金を返還する際にも、補助対象が明確でなければ返還する根拠も無い。  
根拠不明な補助金は、一律カットも可能ではないか。  
委 員：20年以上行なっている事業が多く、何れも補助金の効果を判らないのは、問題

があるのでは。

委員：何を目的に（具体的な目標）、どのような方法で（具体的な手法）、どのような事を行なうのか（活動内容）がよく判らない。従って、補助金の使われ方が妥当かの判断を誰が、どのように行なっているか明確でない。

委員：自治会、自主防災、防犯と種々補助しているが、同一団体への補助ではないのか。

委員：観光協会育成補助で、千葉県大会が浦安で開催するため、補助金を繰越している、という事であるが、その年に必要な額を申請すれば良い事であり、繰越金を充当するというのは考え方が違うと思う。

委員：被爆者団体育成補助については、運営費補助と事業費補助は分けるべきではないか。また、繰越金が補助金の2割というのも問題である。

委員：生ごみ処理容器購入補助については、もの自体が安くなっているはずである。補助額の見直しの時期をどこに設定しているのか？

委員：全体的に繰越金がルーズではないか？

次回会議までに、これまで10回にわたり検討会で議論した内容を報告書の骨子案として取りまとめる。